指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

		施設所管課	都市計画部公園緑地課
施　設　名	都市公園（225公園）		
指定管理者	おおつ協会都市公園グループ		
指定期間	令和4年4月1日　～　令和9年3月31日		
指定管理料	年額671，402，705円（令和7年度）	（総額3，382，792，171円）	
設置目的	市民の誰もが、安全・安心に利用できるとともに、いつ利用しても満足度が高い公園の運営管理を目指し、また、地域の特性や住民の意向に応じ、きめ細やかな配慮の行き届いた公園の管理運営を目的とする。		
業務内容	（1）有料公園施設の使用許可又は不許可を行うこと。 （2）公園施設を良好な状態に維持管理すること。 （3）公園の適切な利用管理を行うこと。		

所管課総合評価	**Ⅰ～Ⅳによる総合評価**	**総合評価コメント**
	B（良好）	管理事業については、優先順位をつけて計画的に実施するとともに、修繕が必要な公園灯についてはLED化を行うことで、環境配慮にも取り組んでいた。また、人件費や物価等の価格が高騰する中、国スポ開催に向けて、予定外の修繕等を実施していた。 自主事業については、多様なイベントの実施や積極的な広報活動の実施等により、収入が前年度比101.3%となった点は一定評価できる。 次年度以降についても、日々の点検や計画的な維持管理により、誰もが安全・安心に利用できるよう環境づくりを行うとともに、魅力ある事業を展開することで、公園の魅力発信・創造に取り組まれたい。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅰ実施体制	**施設の設置目的の達成** □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	**B（良好）**	安心安全を念頭におき、誰もが快適に利用できるよう管理委運営に努めた。	**B（良好）**	事業計画に基づき、施設の設置目的に沿った管理運営を行っていた。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	**B（良好）**	事業計画書に沿って職員の資格や経験年数を踏まえた適材適所の人員配置を行った。	**B（良好）**	事業計画書どおりの人員配置であった。また、施設によっては、有資格者の職員を適正に配置し、施設管理の質向上に努めていた。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	**B（良好）**	事業計画書に基づいて職員の研修や教育を行った。	**B（良好）**	事業計画書に基づき、公園及び施設の管理運営に資する研修や接遇研修などを適切に実施していた。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	**B（良好）**	関係法令や条例等を遵守し、適正適切な管理運営を行った。	**B（良好）**	関係法令や条例を遵守していた。
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	**B（良好）**	個人情報・情報公開の取り扱いについてはプライバシーマークを取得しており、厳粛に管理を行った。	**B（良好）**	個人情報の管理については、協定書に基づき適切に管理していた。また、個人情報を施錠可能なキャビネット等に保管する等、適切に管理を行っていた。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	**B（良好）**	日々の業務については公園noteにて保管、共有した。また点検結果等については、データ及びファイルにて適切に保管した。	**B（良好）**	管理記録や作業内容等を適切に整備、保管するとともに、グループ内で共有するシステムを活用し、管理運営を行っていた。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	**B（良好）**	月1回大津市と定例協議を行い情報共有を行った。各報告書等についても適正に提出を行った。	**B（良好）**	日々の情報共有に加え、月に1度、定例会議を行い、市と指定管理者間で情報共有を行った。また、各種報告書等の提出についても適切に行っていた。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	**B（良好）**	緊急時の連絡体制については各構成団体含め確保、共有した。緊急時においても連絡体制図を整備しており、情報共有を行うなど指導徹底を図った。	**B（良好）**	事故・災害等発生時のフローを整えており、警報発令時についても、団体内及び市への情報共有し、適切に対応していた。また、各施設において、職員へ指導徹底を図っていた。
	《Ⅰ総　括》　業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		**B（良好）**		**B（良好）**	

指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ内容・水準	**施設管理** □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B（良好）	開館日や開館時間は順守できている。日常巡回や利用者要望等により、不良箇所や安全確保は必要な対策を講じている。	B（良好）	開館日、開館時間を遵守していた。また、事故防止及び安全確保のために巡回を行い、不良箇所等の早期発見に努めていた。
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	A（優良）	国スポ障スポの円滑な大会運営に積極的に協力した。各施設、利用料金収入の増減はあったが、概ね前年度実績並みに推移できた。	B（良好）	全体の施設利用件数と施設利用者数は前年度比において97%、101%と概ね水準どおりに推移していた。
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の応対は迅速かつ適切に行ったか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B（良好）	窓口対応や利用許可については問題なく運営できている。設備、備品についても、可能な範囲内において適宜修繕を行うなど、良好な状態を保てるように務めた。	B（良好）	第二期において、一部施設の職員に対して意見が寄せられたが、迅速な指導を行い、既に来年度においては、事前の研修回数の増加を予定している。また、設備や備品等は適切に提供していた。
	業務運営（全体） □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B（良好）	概ね事業計画書通り遂行し、利用促進に向け様々な取組みを行った。料金改定されたなぎさ駐車場の収入については、イベント開催や公園の魅力発信等により減少を最小限に抑えた。また、3月は良い気候が多くあったことにより、例年より微増となった。	B（良好）	事業計画書に基づき、事業運営を行っていた。各施設の利用促進に向け、各種SNSの活用やイベント・1回体験等を実施していた。
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B（良好）	概ね計画書通り実施し、リピーターを多く抱える事業も増加した。また、にぎわい創出に向けた取組み（イベント等）についても関係各所と連携し様々な取組みを行ったことにより、開催を増やしてほしいなどの声も多くいただくなど市民サービス、利用者サービス向上に効果があった。	B（良好）	概ね事業計画どおり実施していた。過去の実績や利用者のニーズを踏まえて、事業の内容を更新し、利用者の満足度向上に努めていた。
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理（点検・修繕）を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B（良好）	設備等の保守点検については適宜実施し、必要に応じて修繕等行った。また清掃、警備関係についても適切に実施した他、備品については、台帳に基づき適切に管理等行った。樹木については、仕様書に則り適切に管理を行った他、落葉清掃での対応など臨機応変に行った。	B（良好）	施設、設備の保守点検や遊具の修繕、清掃等については、計画的に実施していた。 樹木管理については、各公園の樹木の状態・緊急度等に応じて、順次対応するとともに、懸案事項については随時市と協議していた。
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B（良好）	施設の窓口にパンフレットを設置している他、イベント時には来場者へ配布等行った。ホームページについては必要に応じて更新を行うなど適切に管理した。	B（良好）	各施設適宜HP及び各SNSを更新していた。また、各施設に設置しているパンフレットの更新を行い、利用者へ最新の情報発信に取り組んでいた。
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B（良好）	公園灯のLED化の他、プラスチック削減としてマイボトル、冷水機の利用を推奨した。	B（良好）	各施設、プールの水温調整や空調の温度調整を行うなど、可能な範囲で節電・節水に取り組んでいた。また、公園灯や施設の照明を随時LEDに更新することで、省エネルギーの推進に寄与していた。
	ユニバーサルデザイン等への配慮 □ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対しての合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B（良好）	ユニバーサルデザイン、バリアフリーへ配慮した管理運営に努めた。	B（良好）	各施設において、利用者の特性に応じ柔軟に対応するよう職員間で周知し、窓口対応を行うことで合理的配慮の推進に努めていた。また、受付付近に車いすを設置するなどの配慮を行っていた。
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B（良好）	意見・要望・苦情については、公園note、年数回の共同体会議内にて構成団体内含め情報共有を図った。対応については優先順位をつけ適切に対応を行った。	B（良好）	意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立し、職員間で共有していた。
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B（良好）	イベント開催時等に利用者アンケート調査を行い、実態調査やニーズを的確に把握し、調査結果に基づき出来る限り求められている内容を反映できるよ取り組んだ。	B（良好）	イベント時にアンケートを実施することで、利用者の満足度やニーズを把握することに努めていた。得られた意見のうち、事業に反映できるものから取り組んでいた。
	《Ⅱ総　括》　業務の内容・水準に関する評価 【標準11項目／当施設11項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

Ⅲ収支等	**経理事務** □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B（良好）	評価項目に沿って、業務を遂行した。経理業務については必ずダブルチェックを行い、適正適切に処理した。	B（良好）	適正な出納処理を行うために経理処理を複数名で行うなどチェック体制を整えていた。
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入―支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B（良好）	前年と比較して収入が約10%減、支出は約3%増であった。	B（良好）	全体の管理事業収入及び自主事業収入の前年度比は、100.1%、101.3%と概ね適切な水準と言える。また、管理事業・自主事業共に収支はプラスとなっていた。
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B（良好）	節電や節水をはじめ、簡易な修繕等はなるべく直営作業で対応を行い、経費節減に努めた。	B（良好）	簡易な修繕等については、直営作業にて対応することで、経費の節減に取り組んでいた。また、第三者の選定をより適切に行い、費用の削減に取り組んでいた。
	《Ⅲ総　括》　経費の収支等に関する評価 【標準3項目／当施設3項目】		B（良好）		B（良好）	
Ⅳその他（独自の取組等）	**その他** □ 努力事項として掲げた「大津市総合計画の五つの基本方針」の取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B（良好）	大津市総合計画第3期実行計画3つのテーマに則り、管理運営に努めた。親子参加型体験イベントや教室、魅力ある都市（公園）として充実をはかることを目的としたイベント等を開催しにぎわい創出やスポーツ人口増加に向け利用促進を図った。	B（良好）	親子参加型のイベントやスポーツ教室を随時開催するなど、施設利用促進やスポーツ振興に努めていた。また、「Sunshine×Base事業」等にて、公園の魅力発信と創造に取り組んでいた。
	《Ⅳ総　括》　その他に関する評価 【当施設1項目】		B（良好）		B（良好）	

主な成果（全体）	**使用料（利用料）**	**目標**	136,000,000 円	⇒	**実績**	123,336,595 円	
	稼働率	**目標**	50 %	⇒	**実績**	56 %	※各施設での目標設定数値が異なるため北中部のみ
	利用者数	**目標**	566,000 人	⇒	**実績**	583,366 人	※各施設での目標設定数値が異なるため北中部のみ

【指定管理者コメント】

光熱費、物価上昇、人件費等の高騰により管理費が増加したが、節水や節電、公園灯のLED化などを行うことにより可能な範囲で経費削減に努めた。
また、近年多種多様な公園の使い方がされ利用者も増加傾向にあるため、様々な取組みを行い大津の公園の魅力発信を行ったことで、一層多くの方に公園を知っていただけた他、県外から事業に参加していただくことも多くなった。
国スポ障スポ大会においては、運動施設が主会場や関連施設となったためリハーサル大会での課題等を反映した施設修繕や清掃を実施するなど大会運営に貢献した。

【施設所管課コメント】

利用料金収入において、国スポの開催に伴い、例年どおり施設を利用できない期間があったが、前年度比95%を達成していた。また、支出については、国スポ開催に伴い、令和7年に予定していなかった修繕等を前倒し行った中で、直営作業の実施や光熱水費の削減により、前年度比102%に抑えたことは一定評価できる。次年度以降については、稼働率の低い施設を中心に、利用促進に取り組まれたい。

自主事業実施による成果

＜主な自主事業の実施状況＞

事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況（実施・追加・未実施）	特記事項（「未実施」の場合はその理由）
おおつ花を活かしたまちづくり事業	指定自主事業	市民と協働で花植えをして、緑化意識の啓発を行う	実施	
Sunshine×BASE事業	自主事業	市民の憩いの場の提供 （無料Wi-Fi、遊び用具無料貸し出し用）	実施	
トレーニングルーム	自主事業	市民の健康に寄与したトレーニングルームの運営	実施	
各種スポーツ教室	自主事業	スポーツ人口に寄与することを目的とした 様々なスポーツ教室の開催	実施	
おおつ花フェスタin和邇	自主事業	世代、分野を問わず、老若男女が楽しめる緑化推進、啓発イベントの開催	実施	

【指定管理者コメント】

「大津市総合計画第3期実行計画3つのテーマ」や「第4次大津市緑の基本計画」に沿い自主事業を行った。大津市指定自主事業の「おおつ花を活かしたまちづくり事業」や「手のひら花苑」をはじめとする花や緑に関する緑化啓発・推進事業については、市民の緑化意識向上を図ることに寄与した。子育てに関する事業については、プレイパークや運動スクールなどを他企業と協力して行うなど人気を誇った他、市民の健康に寄与したトレーニングルームの運営も引き続き好評であった。

【施設所管課コメント】

各種事業・教室において、公園の魅力創造や発信、市民の健康維持に寄与していた。また、利用者アンケートを実施し、利用者のニーズを把握する仕組みを確立するとともに、事業内容に反映可能な意見については、随時反映できるよう取り組んでいた。支出については、人件費等の高騰などの影響がある中で、前年度比93%に抑えることができたことは、一定評価できる。次年度以降も利用者の満足を向上させる事業の運営に尽力されたい。

課題及び課題解決の結果

【指定管理者コメント】

令和7年度は、資源価格の高騰や人件費の上昇などが課題となる。指定管理者制度は、経費削減と行政サービスの向上を目的に行政改革の一環として広く導入されており、リスク分担においても諸物価の上昇分等は指定管理者が負うものとされている。そのため、我々指定管理者もこれまで最小の経費で最大の住民サービスが提供できるよう常に経営努力を重ねてきたが、急激な物価高騰、賃上げなど、予測困難な経営環境の変化の中では、今後、指定管理期間中であっても企業努力だけでは指定管理者に求められる適切に施設を管理し良好な住民サービスを提供することや、国の目指す物価上昇を上回る継続的な賃上げへの対応に支障をきたすことが危惧される。こうした厳しい経営環境をご賢察いただき、今後、指定管理者がその原資を適切に確保し、高い水準で継続的に業務遂行するための現状に見合った指定管理料となるよう、物価や人件費等の変動に応じて適正にスライドさせる仕組みの導入について引続きご検討いただきたい。

【施設所管課コメント】

資源価格の高騰による管理費の増加という実情の中で、直営作業や業者選定方法の見直し、光熱水費の削減に取り組んだことで、管理事業・自主事業において、支出額を102%、93%に抑えられたことは一定評価できる。また、各施設や遊具等については、指定管理者において、随時点検及び修繕等を実施するとともに、指定管理者において対応が困難な案件については、随時市と協議されたい。

特記事項等